



機械部会 路盤・舗装機械技術委員会 令和元年度 第1回総会

ISO/TC195活動状況 (神戸国際会議の議題に関連して)

JCMA 一般社団法人日本建設機械施工協会
Japan Construction Machinery and Construction Association

2019-9-19
標準部



目次

- 1) TC 195神戸国際会議について
- 2) ISO/TC 195の組織構成
- 3) SC 4(仮)について
- 4) SC 1委員会活動状況
- 5) SC 2委員会活動状況
- 6) SC 3委員会活動状況
- 7) TC 195の今後について



1) TC 195神戸国際会議について



2019年11月 ISO/TC 195 神戸国際会議 詳細日程

会議期間:5日間

開催地:神戸商工会議所「神商ホールB」

日時	会議名
11月18日(月)	WG 9 (自走式道路建設用機械及び装置の安全要求事項)会議
11月19日(火)	午前: WG 9 会議
	午後: WG 5 (道路建設及び維持用機器－用語及び商業仕様)会議
11月20日(水)	SC 1 (コンクリート機械及び装置:日本が議長及び幹事国)総会
11月21日(木)	SC 2/WG 1 (道路作業機械及び関連機器－冬期保守用機器)会議
	夕刻~: 社交行事
11月22日(金)	TC 195 (建設用機械及び装置)総会

各国からのTC 195出席者(2018年9月ハンブルク会議の実績)

中国(10)(幹事国), ドイツ(12)(ツイニング幹事国), フランス(5), 米国(4), 韓国(2), スイス(1) 及び日本(4)の各TC 195関係者

7ヶ国 計38名

参加予定者40~50名程度で計画



協賛社名を会場に掲示
機関誌9月号にも広告

6月初め～8月末迄に
29社より57口の協賛
申し込みあり

多大な御支援に厚く
感謝申し上げます

ISO/TC195 Kobe meeting Official Sponsors
ISO/TC195 神戸国際会議協賛企業





2) ISO/TC 195の組織構成





ISO/TC 195の組織構成 (2019/09時点)

• ISO/TC 195 建設用機械及び装置	国内委員会 活動中
• TC 195/SC 1 コンクリート機械及び装置	
• TC 195/SC 2 道路作業機械及び関連装置	設置済み
• TC 195/SC 3 穿孔及び基礎工事用機械	新設
• TC 195/SC 4 (仮) 道路建設機械	提案中
• TC 195/WG 2 用語及び商業仕様	再開?
• TC 195/WG 5 道路建設及び維持作業用機械	国内委員会 活動中
• TC 195/WG 6 手持ち式エンジンカッタ	
• TC 195/WG 7 手押し式締固め機械	再開?
• TC 195/WG 8 粗骨材処理用機械及び装置	
• TC 195/WG 9 自走式道路建設用機械の安全	国内委員会 活動中
• SC 4(仮)が設置されれば、WG 5, WG 9はSC 4傘下へ統合と推察される	



(参考)CEN/TC 151の組織構成

Working group	Title
CEN/TC 151/WG 1	Earth-moving machinery - Safety
CEN/TC 151/WG 3	Drilling and foundation equipment
CEN/TC 151/WG 4	Tunnelling machines - Safety
CEN/TC 151/WG 5	Road construction machines - Safety
CEN/TC 151/WG 6	Machines and equipment to process building materials (portable, hand-guided, support-mounted, on rails or self-propelled) - Safety
CEN/TC 151/WG 8	Concrete preparation and handling equipment - Safety
CEN/TC 151/WG 9	Machines and plants for the production of cement, lime, and gypsum, including crushing, screening, sizing and recycling - Safety
CEN/TC 151/WG 11	Machines and plants for mining and tooling of natural stone - Safety
CEN/TC 151/WG 13	Machines and plants for the production, treatment and processing of flat, hollow and special glass - Safety
CEN/TC 151/WG 15	Electromagnetic compatibility
CEN/TC 151/WG 16	Road operation machinery - Safety requirements

ISO/TC 195/SC 3に対応

ISO/TC 195/SC 4(仮)に対応

ISO/TC 195/SC 2に対応



3) SC 4 (仮) について





新設SC 4(仮)の適用範囲は？ (TC 195 N1349より)

(自走式、半自走式及び定置式)道路建設機械分野に関する以下の様な標準化

名称; 用途; 分類; 格付け; 技術的要求事項; 試験方法; 性能要求事項; 安全要求事項

道路建設機械の例:

ソイルスタビライザ; ペーバ-フィニッシャ; スリップフォームペーバ; 養生機; フィーダ; 路面切削機械; 路面プレヒータ; イン-プレース道路リサイクル機械; 振動プレート; ランマ;

以下の様な道路建設材料の混練プラント;

- ホットアスファルト混練プラント(定置式又は半自走式);
- コールド混練プラント(例えばセメント砂利、コールドミックスアスファルト製造用) (定置式又は半自走式);
- 瀝青又は非瀝青再生材料混練プラント(定置式又は半自走式);
- マスチックアスファルト、及び天然アスファルト混練プラント(定置式又は半自走式)

以下の様な路面処理機械;

- 結合材散布機械; チッピングスプレッタ;
- 表面補修機械(結合材散布機械/チッピングスプレッタ、又はスプレーヤ/スプレッタ)
- マスチックアスファルトミキサ
- ジョイントシーラ
- マイクロサーフェスマシン/スラリー機械
- コールドアスファルトレイニング/マイクロアスファルト舗装機械



(参考) 現行WG 5/WG 9の取り扱い対象は？

ISO 22242 道路建設及び保守用機械及び装置－基本タイプ－識別及び記述

2.1～2.6及び2.10項に定義される以下の機械

- 2.1 ソイルスタビライザ
- 2.2 瀝青結合材機械
- 2.3 アスファルト製造機械
- 2.4 コンクリート・アスファルト舗装建設機械
- 2.5 コンクリート舗装建設機械
- 2.6 道路仕上げ工事用機械 及び
- 2.10 道路補修機械

→前述のSC 4(仮)が承認されれば、
これら全てを包含する
神戸でのTC 195総会で議論される見込み

- 2.7 路面清掃機械
- 2.8 除草機械及び機器
- 2.9 冬期道路維持用機械及び機器

SC 2へ移管された為、対象外



ISO/TC 195/WG 9, WG 5 国際WG会議 - 2019年の開催状況

2019/5/20-22@米国・ミルウォーキー

WG 9国際会議(3 days)

2019/11/18-19@日本・神戸(予定)

WG 9国際会議(1.5 days), WG 5国際会議(0.5 days)



4) SC 1委員会活動状況





ISO/TC 195/SC 1コンクリート機械 国内審議委員会の構成

標準部会 ISO/TC 195 建設用機械及び装置委員会/コンクリート機械(SC 1)委員会委員名簿

	所属先	所属部署
SC 1議長	日工株式会社	中部支店
	法政大学	デザイン工学部都市環境デザイン工学科
	経済産業省	製造産業局 産業機械課
	経済産業省	産業技術環境局 国際標準課
	KYB株式会社	特装車両事業部 熊谷工場 技術部
	一般財団法人日本規格協会	産業基盤系規格開発ユニット 土木・建築・機械系規格チーム
	鹿島道路株式会社	生産技術本部 機械部
	エクセン株式会社	技術部
	日工株式会社	テクノセンター 設計部 設計3課
	極東開発工業株式会社	三木工場 技術部 第三設計課
	株式会社北川鉄工所	産機事業部 技術部 設計1課
	新明和工業株式会社	特装車事業部 佐野工場 設計部 ミキサバルクグループ



ISO/TC 195/SC 1コンクリート機械 -神戸国際会議の議題案

11月20日(水) SC 1 (コンクリート機械及び装置: 日本が議長及び幹事国) 総会を開催

SC 1 Plenary Draft agenda

SC 1 Doc N 333

1. Opening of the TC 195/SC 1 Plenary meeting (9:00)
2. Roll call of delegates
3. Work environment: [Code of Conduct](#)
4. Adoption of the agenda (SC 1 Doc N 333)
5. Appointment of the drafting committee
6. Report of the Committee manager
SC 1 work after the last meeting (by Committee manager)
7. Status of all items of the programme of work and action to be taken
 - 7.1 Review for DIS registration of ISO/CD 21573-2 Concrete pumps – Part 2: Procedure for examination of technical parameters (by WG 6 Convenor, Ms. WANG)
 - 7.2 Review for DIS registration of ISO/CD 18650-1 Concrete mixers – Part 1: Vocabulary and general specifications (by WG 7 Convenor, Mr. PATEL)
 - 7.3 Status on prEN 12609, prEN 12151 and prEN 12001 Revision work under CEN/TC 151/WG 8 relating to PWIs under SC 1; **PWi 19711-2 – Truck mixer– Part 2,** and PWi 19720-2 – Plants for the preparation of concrete and mortar – Part 2 : Safety requirements (by CEN/TC 151/WG 8 Secretary, Ms. KIEFER)
 - 7.3.1 Working status on ISO/PWi 19711-2 – Truck mixer – Part 2: Safety requirements (by WG 4 Convenor, Mr. SHIMIZU)
 - 7.3.2 Working status on ISO/PWi 19720-2 – Plants for the preparation of concrete and mortar – Part 2: Safety requirements (by WG 5 Convenor, Ms. WANG)
 - 7.4 Report on preparation status of "Concrete machinery – Worksite data exchange" (by Proposed Convenor, Ms. WANG)

日本コンビナーが推進



ISO/TC 195/SC 1コンクリート機械 -神戸国際会議の議題案(続き)

7.5 Ongoing Systematic Review ballots (by Committee manager)

7.5.1 ISO 21573-1 Concrete pumps – Part 1: Terminology and commercial specifications – to be closed on 2/Dec/2019

7.5.2 ISO 18650-2 Concrete mixers – Part 2: Procedure for examination of mixing efficiency – to be closed on 2/Dec/2019

7.5.3 ISO 13105-1 Machinery for concrete surface floating and finishing – Part 1: Terminology and commercial specifications – to be closed on 3/Mar/2020

7.5.4 ISO 13105-2 Machinery for concrete surface floating and finishing – Part 2: Safety requirements and verification – to be closed on 3/Mar/2020

7.6 Discussion on Systematic Review results for ISO 11375 Building construction machinery and equipment – Terms and definitions under TC 195 (by Committee manager)

8. Items for future work

9. Requirements concerning a subsequent meeting

10. Any other business

10.1 Updates for ISO committees (provided by ISO/TPM)

10.2 Plans for future NWIPs

11. Approval of resolutions

12. Closure of the TC 195/SC 1 Plenary meeting (17:00)

中国、米国コンビナーが推進するプロジェクト案件の
進捗をフォロー
今年はインドからの初参加も表明



5) SC 2委員会活動状況





5-1) 昨年設置: ISO/TC 195/SC 2道路作業機械 国内審議委員会の構成

標準部会 ISO/TC 195/SC 2委員会委員名簿(JISC提出版)

氏名	所属先	立場	除雪 生産者	路面 清掃 生産者	使用 者	中立 者
	国土交通省	使用者			1 ^(*)	
	施工技術総合研究所	中立者				1
	経済産業省	中立者				1
	経済産業省	中立者				1
	(一財)日本規格協会	中立者				1
	鹿島道路株式会社	使用者			1 ^(*)	
	株式会社NICHIGO	生産者	1			
	範多機械株式会社	生産者	1			
	新潟トランス株式会社	生産者	1			
	コマツ	生産者	1			
	コマツ	生産者	1			
	極東開発工業株式会社	生産者		(1)		
	新明和工業株式会社	(オブザーバ)		1		
	株式会社加藤製作所	生産者		1		
	豊和工業株式会社	生産者		1		
	株式会社モリタエコノス	生産者		1		
	兼松エンジニアリング株式会社	生産者		(1)		
	株式会社協和機械製作所	生産者	1			
	(一社)日本自動車車体工業会	生産者		1		
	(一社)日本道路清掃技術協会	使用者			1 ^(*)	
	(一社)日本建設機械施工協会	中立者				1
小倉 公彦	(一社)日本建設機械施工協会	中立者				1
委員会構成員 ^{(*)3}			3		3	2
			7	4	3	6

*1 除雪機械は、国土交通省が大半を所有・使用する為、生産者数より使用者数が少ない

*2 路面清掃機械は、日本道路清掃技術協会が使用者を代表する為、生産者数より使用者数が少ない

*3 委員会開催に当っては、会社規模・事業規模等を勘案し、生産者のうち太字の2社程度が代表、中立者も太字の2者が参加することで、使用者とのバランスを調整する

生産者の間での意見調整は、分科会(又は該当するJCMA技術委員会)において行う



5-2) 日本への対応

- SC 2傘下に設置される路面清掃車・冬期保守用機器の各WGへ、日本専門家を登録(CIB~9/4締切)
- ISO/TC 195神戸国際会議で11月21日(木)開催のSC 2/WG 1会議に出席し、議長国ドイツ及び各国専門家と協議予定
- 委員各社にも会議参加・協力を依頼
- 国際WG会議で議論の上、修正された各WDを入手、次段階に備えてSC 2国内審議委員会で検討する



神戸商工会議所

兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目1番地

社交行事を予定

November 2019

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					11/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30





6) SC 3委員会活動状況





6-1)今年設置:ISO/TC 195/SC 3穿孔及び基礎工事用機械 国内審議委員会の構成

	所 属 先	立 場
	日本車輛製造(株)	生産者
	調和工業(株)	生産者
	コベルコ建機(株)	生産者
	三和機材(株)	生産者
	(株)加藤製作所	生産者
	住友重機械建機クレーン(株)	生産者
	アボロンシステム(株)	生産者
	東邦地下工機(株)	生産者
	(株)技研製作所	生産者
	鉦研工業(株)	生産者
	鹿島道路株式会社	使用者
オブザーバ	大成建設(株)	使用者
オブザーバ	ライト工業(株)	使用者
オブザーバ	前田建設工業(株)	使用者
	三井住友建設(株)	使用者
	鹿島建設(株)	使用者
	オリエンタル白石(株)	使用者
	東洋建設(株)	使用者
	日立建機(株)	生産者
	経済産業省	中立者
	経済産業省	中立者
	(一財)日本規格協会	中立者
	(一社)日本建設機械施工協会	中立者
	(一社)日本建設機械施工協会	中立者
	(一社)日本建設機械施工協会	中立者



6-2) SC 3の適用範囲

建設現場で用いられる基礎工事用機械

(例：杭打機、ダイヤフラムウォーリング、アースボーリング、
ジェットイング、グラウティング、土壌及び岩石混合地盤用
ドリルリグ)

の分野における

・名称・用途・分類・格付け・技術的要求・試験方法・安全
要求の標準化



6-3) SC 3の決議事項

SC 3総会(2019/05/23-24@仏・ラデファンズ) Doc N 8決議書より
決議8/2019—標準化開始の為の作業プログラム準備—
WG 1”用語及び定義”の設立

SC 3は、以下の潜在的NWI(新業務項目)への関心に留意する:

- ・穿孔及び基礎工事用機械及び装置における共通理解の為の用語規格
以下を決議する

- ・Daniel Perpezat氏をコンビナーとする”用語及び定義”の作業グループを設立
する(任期3年、2022年5月まで)

NWIP(新業務項目提案)の照会用に、既存規格又は案文(例えばISO 11886,
ISO 21467, ISO 18758, ISO 6165 及びEN 16228-1 附属書A)を基本とする初稿案
文を準備する

※その後、SC 3委員会内投票にかけられ、賛成多数・専門家参加5ヶ国以上などの要件を満たせばNP(新提案)として成立、要件に満たない場合は不成立となる



7) TC 195の今後について



7-1) 次回TC195国際会議の開催時期/場所

TC195傘下SC(分科委員会)が別々の時期・場所で会議を開催すると、事務局負担(時間・財政・人員・準備面)の増大につながり、決して好ましくない

今年5月にSC 2, WG 9, SC 3が連続する日程でドイツ、米国、フランスで其々会議を開催し、日本はどれにも参加できない事態が発生

次回総会の開催時期及び場所は、神戸国際会議のTC 195総会において各議長国の判断で最終的に決定されるが、少なくともSC 1議長国として「TC 195傘下各SCが総会開催の足並みを揃え、参加各国の便宜を図るよう」提言したい

**ご理解ご協力の程
宜しくお願い申し上げます**

 一般社団法人 日本建設機械施工協会
Japan Construction Machinery and Construction Association